



男女共用トイレ

多機能トイレ

田辺市立大坊小学校

明治からの歴史を持ち、地域コミュニティーの拠点となる小学校が、地元産材を使い老朽校舎を改築

児童が安全かつ安心して生活できる教育環境を整備した、木のぬくもりを感じる小学校。災害時の避難所になることを考慮し、断水時に少量の洗浄水で汚物を排出できるレジリエンストイレを採用。災害時でも普段と同じように無理なくトイレを使うので、児童も避難所運営の手伝いができる。



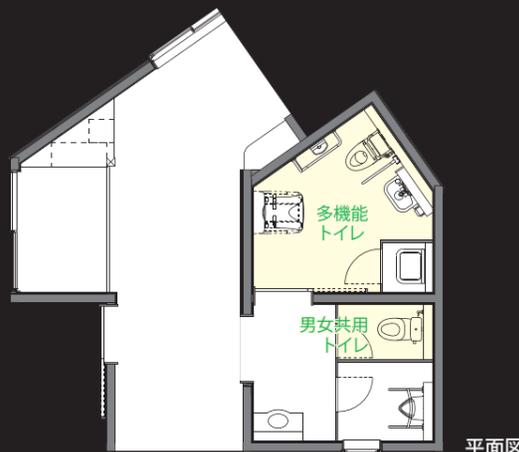
外観全景

DATA

施主：田辺市
 設計：株式会社堀田設計
 施工：株式会社山幸
 所在地：和歌山県田辺市芳養町3944
 竣工：2019年2月

商品情報

<男女共用トイレ>
 レジリエンストイレ : BC-P112SA・DT-PB150CH
 普通便座 : CF-37CK
 <多機能トイレ>
 レジリエンストイレ : BC-P112SA・DT-PB150CH
 シャワートイレ : CW-PA11ML-NE



平面図

掲載内容及び写真・図版の無断転載はかたくお断りします。(許可なく転載・流用した場合、損害賠償が発生します。)

防災授業



災害時の避難所のトイレ問題を自事として捉えられるよう、児童を対象とする防災授業を実施。災害による断水を想定した実習では、設置したレジリエンストイレの洗浄方法をペットボトルの水(1L)を使い体験した。

施設管理者様の声

令和元年5月、創立118年の本校は新校舎落成式を迎えた。耐震性を備えた本校舎は地域の避難場所として指定され、今後避難所としての運営をしていくことになった。校内には災害配慮トイレ「レジリエンストイレ」が設置されている。

先日、児童を対象にしたLIXILによる「防災出前授業」として、災害時の避難所トイレの使い方を教えて頂いた。「タンクのネジを外し、中のピンを取り外す」だけで、通常時の5分の1の水量で汚物を流せるようになるトイレに児童は皆一様に驚いた。高学年はプールからバケツで水を運ぶ作業も体験した。

学校が避難所となった時、児童は地域の人と共に避難所運営に関わることになる。全国の小学校で初めて設置されたこの「レジリエンストイレ」を、日頃は快適に使わせてもらい、「いざという時」には自分の命を自分で守り、地域のためにボランティアができる小学生になってほしいと思う。

和歌山県田辺市立大坊小学校 / 玉井 朋子 校長

男女共用トイレ・多機能トイレ



男女共用トイレ



多機能トイレ



インテリアに調和した木製のトイレサイン。災害時でも普段通りトイレが使えるように平常時5L/断水時1Lで使用するレジリエンス レジリエンストイレが規定する排水配管。ビクトグラムでわかりやすく表示している。トイレを男女共用トイレと多機能トイレに採用。多機能トイレにはシャワートイレも採用。45°エルボと大曲りY字管の2つの継手で施工。

屋外



災害時にはプールの水をトイレの洗浄用水に使用する。



市有林で伐採した紀州材を構造材や内装材としてふんだんに使用している校舎。災害時をはじめ、地域活動の拠点にもなるホールを備えている。